

パレスチナ難民キャンプ改善プロジェクト フェーズ2

PALCIP2 Newsletter #4

難民キャンプ改善計画が完成 / コミュニティ活動を実施しました！



CIP作成のための会議を行うキャンプ住民

3キャンプにて難民キャンプ改善計画が完成

パレスチナ自治区ヨルダン川西岸地区の本プロジェクト第1サイクル対象3つのパレスチナ難民キャンプ※1にて「キャンプ改善計画(CIP)」が完成しました。

新型コロナウイルス等の影響があり、思うように活動を進めることができない中でしたが、難民問題局(DoRA)がイニシアティブを取り、キャンプ住民と共にCIPの策定を行ってきました。DoRAも前フェーズの経験を活かしながら、各キャンプに赴き住民委員会(PC)及びキャンプ住民への本プロジェクトについての意義や目的について理解を深めてもらいました。その後、女性、青年、高齢者、障害者など様々な立場/状況のキャンプ住民の代表から構成されるキャンプ改善フォーラム(CIF)で、それぞれが抱える課題やニーズを取り纏めます。そのニーズや課題を基に今後5～10年の望ましいキャンプの在り方について話し合いを行いました。そして、ビジョンと戦略目標を設定し、目標達成のために必要な改善アクションを特定するというプロセスで行われました。

※1 今フェーズでは、第1サイクルとして、3つの難民キャンプが対象となっています。

第1サイクル対象キャンプ: 北部トゥルカレムのNur Shams Refugee Camp(NSRC)

中部ジェリコのEin El-Sultan Refugee Camp(ESRC)

南部ヘブロン(Fawwar Refugee Camp(FWRC)

第2サイクル以降のキャンプでもキャンプ改善計画策定支援を行っていきます。

コミュニティ活動の実施

CIPの最終策定作業と並行して、上記の対象3難民キャンプでコミュニティ活動が実施されました。

「コミュニティ活動」はCIPの改善アクションの中から、難民キャンプ内のコミュニティ活性化のため、住民自身が主体となり実施する活動です。

コミュニティ活動を経験すること、そのプロセスを通じて住民間のネットワークを形成・強化することで、今後CIPをベースに住民自らが活動を企画・実施できるよう住民のキャパシティビルディングを行っていくことがこの活動の狙いです。

例えば、若者たちがキャンプ内の美化(清掃)活動を行ったり、初等教育就学児向け補習授業や児童向け課外活動支援等が実施されました。また、様々な立場/状況の住民の皆さんがコーヒーやお茶を飲みながら問題や悩みを互いに話し合い、分かち合う相互扶助グループ活動等、多彩なコミュニティ活動が行われました。



キャンプでの児童向け課外活動支援の様子